

## 2014年度 第3回

### 日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会 議事録

日時：2014年11月12日（水）18:30-20:30

場所：東洋大学白山キャンパス5号館1階第5102教室

出席者（敬称略）：高山直樹、森田明美、大島巖、荒井浩道、岡田哲郎、岡部卓、小野孝嘉、北本佳子、黒岩亮子、小林理、齊藤順子、榊原美樹、佐藤信人、高橋克典、田嶋英行、月田みづえ、贄川信幸、原田欣宏、菱沼幹男、山口麻衣、山田知子、李恩心、六波羅詩朗、渡邊浩文、丸山晃、由良亮人（事務局）

#### 〔報告〕

##### 1. 各部会活動報告

○ホームページについて【荒井氏報告】

関東部会ホームページ：別紙参照

一日あたりの訪問者数：別紙参照

- ・HP情報の更新・充実（奨励賞の特設ページ、投稿論文の掲載、研究大会の日程周知）
- ・電子ジャーナルのフルテキストの公開により月150件をこえるアクセス数
- ・研究大会直前やメールマガジンの送信によりアクセス数が増加
- ・1ヶ月あたり1万件を超えるアクセス数あり

##### 2. その他

○メールの一斉配信について【事務局報告】

- ・配信方法を日本社会福祉学会事務局に確認し、関東部会用の配信システム体制を設定  
→現在、稼働可能な状態
- ・情報提供をスムーズに実施するため、メール配信元を事務局とする
- ・メールマガジンを発行する場合、各担当者が発信情報を文書作成し、事務局に依頼

○広報活動について

- ・ツイッターとフェイスブックの拡充を予定 →担当者（広報委員）の増員を希望
- ・メールマガジン担当をおく（岡田氏に決定）、業務内容：ホームページの情報を切り抜き、メールマガジンを作成する

#### 〔議題〕

##### 1. 2014年度関東地域部会研究大会について【高山氏報告】

○2014年度日本社会福祉学会関東地域部会研究大会（案）：別紙参照

- ・10月18日に大会担当者会議を開催し、第2回運営委員会において検討された研究大会に関する意見をもとに再検討され、プログラム（案）を作成
- ・登壇予定者に対し、既に依頼を行っており、日程等は内諾済
- ・当初、ソーシャルワークの定義の改正にとまなう基調講演を計画していたが、当日は

- 国連ソーシャルワーカーデーと重なり、IFSW の総会がある為、関係者の出席が困難
- ・プログラムの再調整をすることになったが、今年度学術賞受賞者（奨励賞）が関東部会から2名選出された為、基調講演の代わりに記念講演に変更することで対応
  - ・提案したプログラムが運営委員会において承認されたため、正式依頼する
  - ・シンポジストの事前打合せを行い、シンポジウムの方向性や内容のすり合わせを行う
  - ・懇親会（昨年度から実施）の企画、費用等を再検討する
  - ・自由研究報告の申込と取りまとめは、昨年同様、高橋先生と田嶋先生が担当
  - ・配布資料の研究大会（案）を参照し、以下について修正した

	修正前	修正後
実行委員長	高山直樹先生	実行委員長 高山直樹先生 大会事務局長 丸山晃先生
プログラム	9:30～11:30 自由報告発表	9:30～12:00 自由報告発表
	11:30～12:30 昼食 (第4回関東部会運営委員会)	12:00～13:00 昼食 (第4回関東部会運営委員会)
	12:30～14:00 記念講演(奨励賞受賞者2人) ※45分×2本	13:00～14:00 記念講演(奨励賞受賞者2人) ※30分×2本
	助言者(指定発言者) 森田明美(調整中)	コメンテーター 森田明美
懇親会費	会費 2,000 円	再検討

## 2. 自由報告発表について【高橋氏報告】

○2013 自由報告募集要項（昨年度版）：別紙参照

- ・昨年は12月16日にホームページ案内掲載、今年度も同様に掲載予定  
(問題点) エントリーが締切最終日に申込集中、スケジュールがタイト、聴講者なしの状態  
(改善点) 時間を拡張し、1分科会あたり報告数を増やし、分科会数を減らす、20本程度が理想的、1分科会あたり3人の報告数が望ましい、報告時間を減らす
- ・配布資料の募集要項（昨年度版）を参照し、今年度版を作成

	昨年度(2013年度)	今年度(2014年度)
2. 実施要綱	①研究報告部門(報告25分、質疑応答25分) ②萌芽的研究報告部門(報告15分、質疑応答10分) ③実践報告部門(報告15分、質疑応答10分) ※11分科会 ①18本 ②7本 ③3本 計30本 ※奨励賞参加9名	①研究報告部門(報告20分、質疑応答20分) ②萌芽的研究報告部門(報告15分、質疑応答5分) ③実践報告部門(報告15分、質疑応答5分) ※8分科会 ①18本 ②6本 ③6本 計30本想定
3. 申込方法	2014年1月31日(金) <a href="mailto:jsssw_kanto2013@icloud.com">jsssw_kanto2013@icloud.com</a>	2015年2月6日(金) <a href="mailto:jsssw_kanto2014@icloud.com">jsssw_kanto2014@icloud.com</a> (未確認)
4. 発表要旨 原稿の締切	2014年2月10日(月)	2015年2月16日(月) 必着

### 3. 研究大会奨励賞【小野氏報告】

- 平成 26 年度関東部会研究大会奨励賞選考スケジュールについて（案）：別紙参照
  - ・スケジュールの確認
  - ・審査員（選考委員長：高山担当理事、森田先生、大島先生、岡部先生、山田先生）

### 4. 広報関係（ニューズレター）【小野氏報告】

- 平成 26 年度関東部会ニューズレター（vol. 19）執筆計画および進捗状況：別紙参照
  - ・12 月 10 日を目標に発行予定（昨年度 2 月発行）
  - ・内容（①巻頭言担当理事寄稿、②昨年度大会報告、③大会お知らせ、  
④昨年度奨励賞受賞者寄稿、⑤⑥新任委員寄稿、⑦⑧運営委員寄稿）8 頁構成
  - ・10 月中旬から執筆依頼、執筆要綱等メール添付済、11/12 締切、11/20 初校予定
  - ・ニューズレターを研究大会チラシと一緒に配布

### 5. 社会福祉学評論、編集委員会【大島氏報告】

- ・今年 8 本目の投稿が 9 月末にあり
- ・暫定的に日本社会事業大学（大島氏）が編集事務局を担当しているが、9 月末の投稿締切に合わせて、編集事務の東洋大学（高山氏）へ引き継ぐ予定であったが困難な状況
- ・編集委員長業務は、12 月以前までの投稿分については、大島先生が対応し、12 月末以降投稿分については、高山先生が対応する予定であるが調整の必要性あり
- ・受理論文掲載の関東部会機関誌・社会福祉学評論 13 号（電子版）が発刊
- ・13 号（紙媒体）を福祉系大学宛に送付予定
- ・引き継ぎにあたり、投稿受付から掲載までの手順マニュアルを作成（日本社会事業大学にて作成）
- ・事務作業のアウトソーシング化の検討（査読システム等の伝達の困難さ）

### 6. ホームページ【荒井氏報告】

上記の〔報告〕を参照

### 7. その他

- 個人情報等のデータ管理について
  - ・自由研究報告や社会福祉学評論等で生じたデータや個人情報の管理の問題  
運営委員の個人パソコンにデータが保管されている状況
  - ・部会費用を捻出することを前提にオンライン（クラウド）ストレージ（外部記憶装置）  
の設置を検討する

### 8. 次回運営委員会

2015 年 3 月 15 日（日）12:00～13:00 場所未定（東洋大学）

記録：由良亮人